

八王子 水のまちニュース

第6号

平成27年8月

八王子市水循環部
水環境整備課
042-620-7291(直通)

河口の「干潟」を見てみよう

八王子市・日野市連携事業

昨年まで、浅川の上中流部で小学5・6年生を対象に行ってきた「子どもの交流事業」ですが、今年は、多摩川の河口付近の「干潟」を新たなフィールドとし、身近な「浅川」などとの違いを体験してもらいました。



7月30日に開催しました！

当日は好天に恵まれ、参加した子どもたちは、カニやシジミなど、普段見慣れない生物の採集や観察を真剣に行っていました。

子どもたちには、干潟という繊細な環境に成り立つ生態系や、山からの川の流れが、やがて河口から海に達し、雨雲となって山へと戻る「水の循環」を肌で感じてもらえたことと思います。



～カタクリ(片栗)～

ユリ科の多年草で、春に特徴的な紅紫色の花を咲かせ、水辺近くの湿気が多い斜面などに多く群生する植物です。

古くは「カタカゴ」と呼ばれ、葉の斑点模様が鹿の体のように見えることから「片鹿子」や、花が傾いた籠のように見えることから「傾籠」とも書かれました。



大伴家持がカタカゴを詠み込んだ歌が万葉集に収められているほど、昔から人々に親しまれてきました。

もののふの 八十娘子(やそをとめ)らが
汲みまがふ 寺井の上の 堅香子の花



片栗粉は、根茎から採れるデンプンが原料だったことから名づけられましたが、自生のカタクリが減少した現在では、ジャガイモデンプンに置きかえられています。

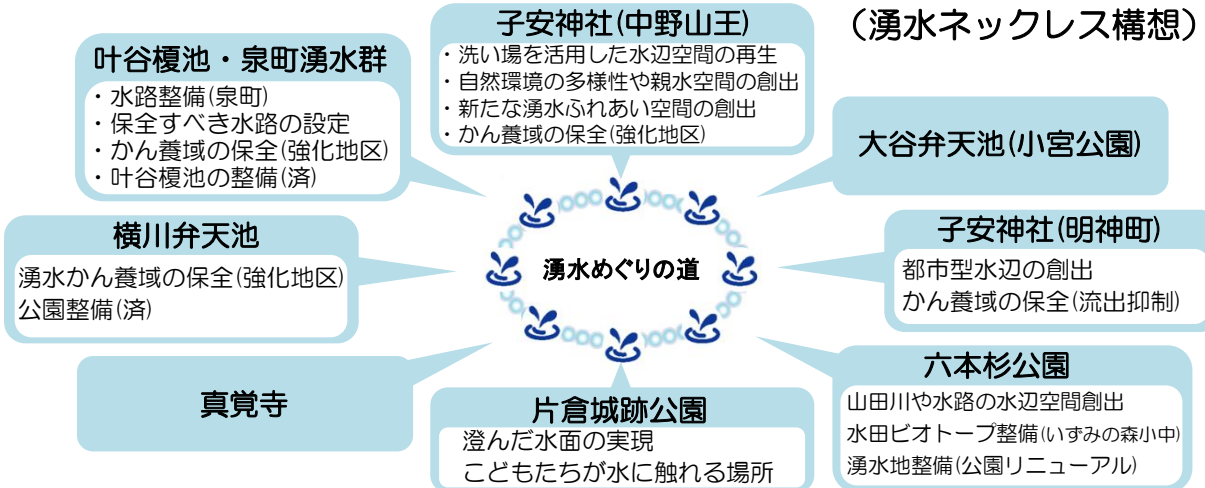
水循環計画を改定しました

市は水循環機能の低下がもたらしている水環境の課題に対応するため、まちづくりを通じて健全な水循環系の再生に取り組む「八王子市水循環計画」を策定。平成22年度より施策を推進してきました。

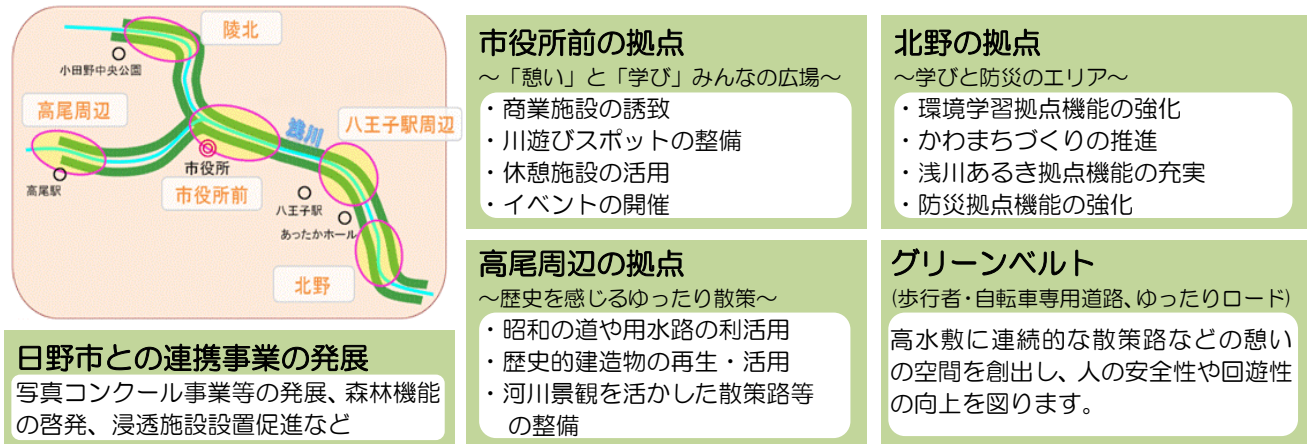
平成26年度、計画が中間期に達したことから、これまでの取組を総括し、河川の水量確保、浅川の水辺活用、湧水ネックレス構想の実現を課題として見直しを行い、環境審議会の答申及び市民意見を踏まえて改定を行いました。

改定のポイント

① 8つの湧水保全と「湧水めぐりの道」で水のまちづくりを展開します



② 拠点とネットワークで浅川の水辺活用を推進します



③ 浅川の水量回復に向け流域で連携した取組を展開します

浅川流域の関係機関と連携して水量回復の取り組みを進めます。

- ・市街地における雨水浸透施設の設置強化
- ・公共下水道合流地区における湧水の活用と管きよへの浸入水抑制
- ・森林の循環（森づくり）による水源かん養機能の向上

④ 雨水貯留浸透施策の充実と雨水利用の推進を図ります

雨水貯留浸透推進計画の策定（平成27年度から運用）

⑤ 市民と協働したモニタリングを実施します

取組の効果を検証するため、水量、水質、生物などに係るモニタリングを市民と連携して行います。

まちの話題

みまも

「水辺の水護り制度」に登録し、横川町・元八王子町で水路の保全活動をされている「横川水利組合」の加藤さん・萩原さんにお話を伺いました。

私たちは古くから、城山川の流域であるこの地で稲作・畑作を営んでいます。「自分が食べるものはすべて自分で作りたい」という思いに始まり、直売所を運営するなどして地域に密着した農業を行ってきました。最近では、食育の一環として学校給食に採れたての野菜を出荷したり、近くの小学校を対象に、田植えや稲刈りの見学も行っています。



近隣の小学校による田植え見学

しかし近年の市街化により、以前は 14 軒あった稲作農家も今では 4 軒となってしまいました。農業に欠かすことのできない水路を保全するためには、定期的な草刈りや清掃活動が必要になります。かつては土手が崩れやすく、手入れが大変な水路でしたが、現在は改修され、管理がしやすくなりました。こまめな手入れの甲斐もあってか、水路には常にきれいな水が流れています。水がきれいな状態で保たれることで、近くの水路や河川にはめだかや蛍の姿が戻り、地域の方々にも喜んでいただけるようになりました。水田はお米の生産だけでなく、水辺を作り出すことでたくさんの生命を育んだり、私たちの心に潤いや安らぎを与えたりしてくれます。

私たちはきれいな水でおいしい農作物を作り、新鮮な食べ物を提供することで『地産地消』、『食の教育』に今後も貢献していきたいと考えています。そのためにも、今後も水田や水路を大切にし、水のある豊かな環境を地域住民の交流空間として守っていきたいと思います。



加藤さん 萩原さん



美味しいお米はきれいな水から

デザインマンホールを設置しました（片倉駅～片倉城跡公園）

JR片倉駅から「東京の名湧水57選」にも選ばれている片倉城跡公園に向う歩道上に、公園までの経路を案内するデザインマンホールを設置しました。

カワセミやショウブ、カタクリなど、公園にゆかりのある6種類のデザインが施されています。



園内の湧水が流れ込む池を中心として、多くの自然を残す片倉城跡公園では、四季を通して、彩り豊かな景観や生きものをご覧になれます。電車でお越しの際には、足元のマンホールもぜひお楽しみください。

水槽展示を行いました

6月の「環境月間」に合わせて、今年も「浅川に棲む魚」の展示を行いました。今回はカジカやヨシノボリなど河底の魚が多く、そのユーモラスな顔つきで、来庁される皆様を楽しませてくれました。

展示中、訪れた方が「一昔前まで、浅川は水が汚かったからカジカやアユは姿を消していたんだよ。魚が棲めるくらいきれいになったんだね。」とおっしゃっていました。

八王子市では、下水道の普及や生活排水の対策が進み、川の水質が劇的に改善しました。「水を大切にする」努力が実り、浅川はかつての姿を取り戻しつつあるのかもしれませんが。



～編集だより～

この時期、浅川沿いを散歩していると、子ども達が川遊びをして涼んでいる様子をよく見かけます。大人になると、濡れるのをどうしてもためらってしまうものですが、子ども達は元気に川へ飛び込んでいきます。微笑ましくもあり、ちょっぴり羨ましい。

「子ども達が遊べる川」、なんだか良い響きですね。無邪気な笑顔を見ていると、水を大切にしたいご褒美がもらえたようでとても良い心地がします。